

令和6年3月24日
学校法人呉学園
日本写真芸術専門学校
理事長 宋 成烈

令和5年度 事業報告

① 学生募集活動

令和5年4月入学の学生数は、募集定員190名に対し127名であった（5月1日時点）。

② 教育活動

教育活動に対する評価は概ね適切という判断であるが、いくつかの点において課題や改善の余地がある。超実践教育という教育理念に関しては実現できた部分もあるが、コロナ禍以降の社会情勢の変化や姉妹校であるマレーシア校の存在も踏まえ、様々な形での授業の提供も目指し続けること、海外フィールドワークや海外研修の再開など、より外へ実践の場を改めて広げていくなど、引き続きの対応が必須だと考える。

学生対応については、個別相談の更なる充実、保護者や卒業生との連携など、これまで以上に改善に努めてきた。特に経済的に困窮する学生や、自身の進路に迷う留学生への対応等については、面談を実施するなどより柔軟に対応することで、学生が学びを継続できるよう支援を行った。

③ 財務関連

令和5年度の入学者数および在籍学生数は前年度よりも減少した。

その上で適正な予算・収支計画に基づき、安定的な学校運営を行ったと判断している。

引き続き経費全体の見直しを行い財務基盤の強化に努めている。

一定数の入学者の確保と退学者を減らすことにより、より高水準の財政基盤の確保を目指している。

以上